

三方よしのバスサービスの実現

自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替

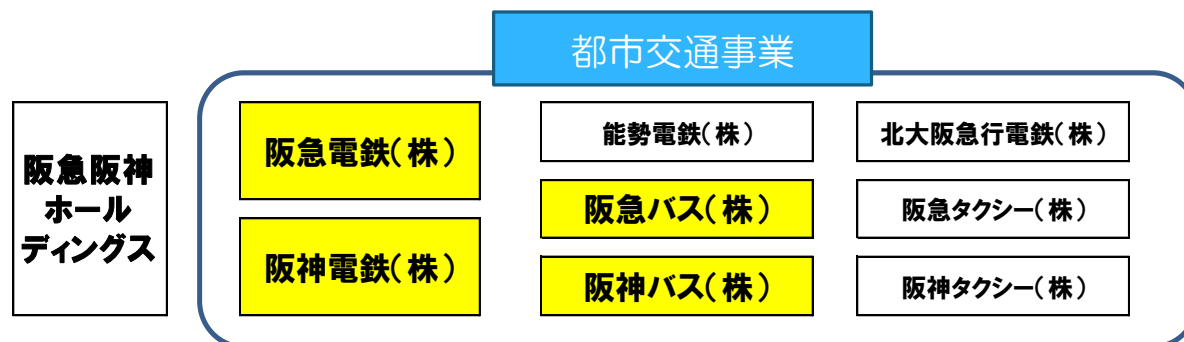
阪神バス株式会社

会社概要

本社所在地	兵庫県尼崎市大庄川田町108-1	営業所	尼崎営業所
設立	2005（平成17）年12月14日		西宮浜営業所
資本金	9,000万円		塚口営業所
株主	阪神電気鉄道株式会社100%出資		武庫営業所
従業員数	489名（うち、乗務員407名）		
車両数	331両 ※2024年4月1日時点		

**当社は阪神電気鉄道(株)の子会社であり、
阪急阪神ホールディングスグループの一員です。**

（参考）阪急阪神ホールディングス株式会社
「阪急電鉄（株）」「阪神電気鉄道（株）」等を中核会社とする持株会社として
グループ全体の事業戦略の策定や経営管理を行っています。



事業内容

- ・一般路線バス : 55路線（阪神線、尼崎市内線）
※尼崎市内線（32路線）のうち10路線を尼崎交通事業振興(株)に委託
- ・空港リムジンバス : 9路線（大阪空港線4路線、関西空港線5路線）
- ・高速バス : 6路線（津和野線、宇和島線、大阪徳島線、神戸徳島線、今治線、三田線）
- ・貸切バス : プロ野球選手輸送、学校団体輸送等



阪神間を事業エリアとして地域に密着したバス事業を展開

1. 尼崎ドライブスクールとの取り組み (2021年7月～)



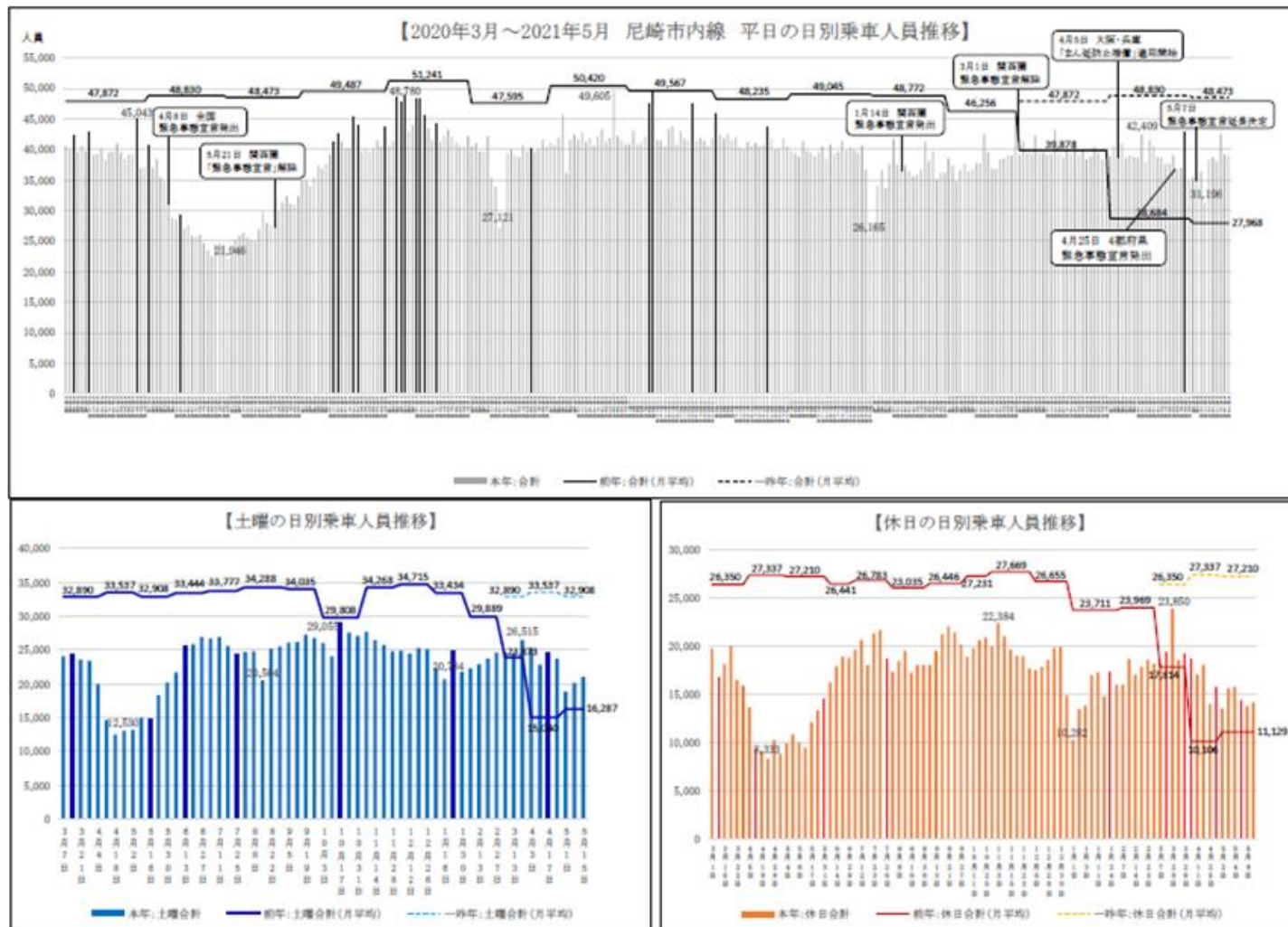
尼崎ドライブスクールの無料送迎コース（青）が阪神バス路線（赤）と重複



凡 例	
—	路線バス
—	あまドラ

新型コロナの影響（阪神バス尼崎市内線）

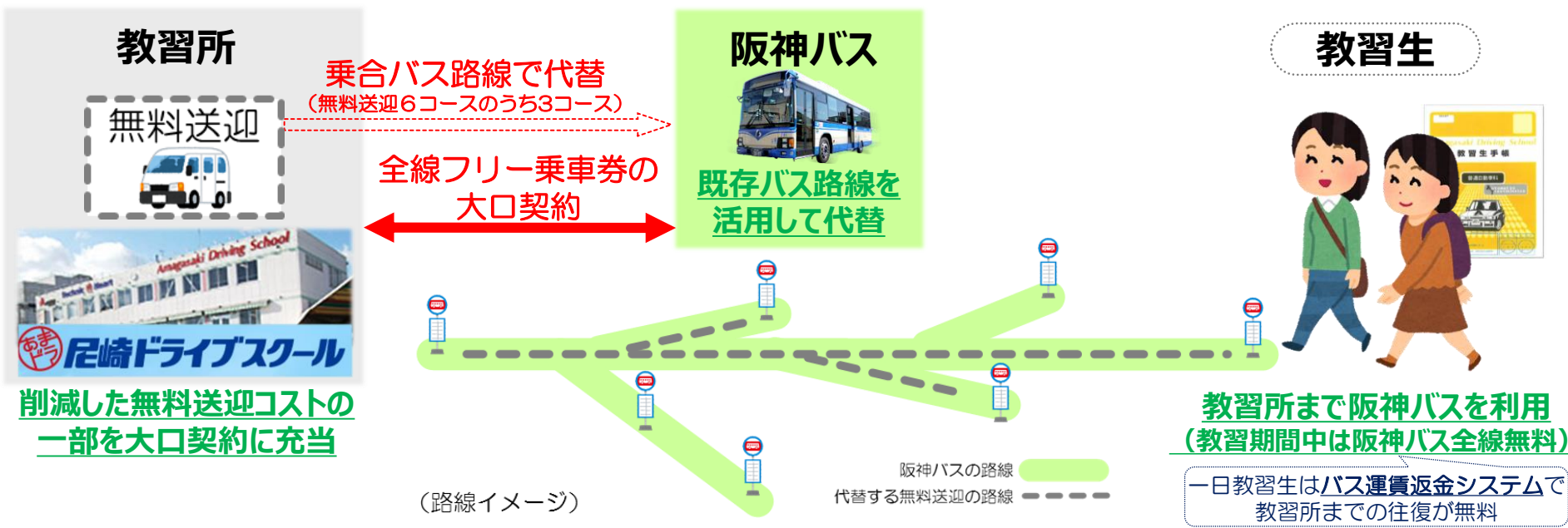
輸送人員が前年を大きく下回る時期が続く



【阪神バス】自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替（兵庫県尼崎市）

R3.7.31実施

阪神バス(株)が、路線が重複する自動車教習所の無料送迎を乗合バス路線で代替



三方にメリット

教習所

- 無料送迎コスト削減
- 交通事故リスク回避
- より広範囲からの集客

阪神バス

- 新規の運行コストなく固定収入を確保
- 新たな路線バス利用のきっかけを創出

教習生

- 乗降停留所が増加し、わかりやすくなり、利便性が向上
- より安心安全な乗合バスを利用可能

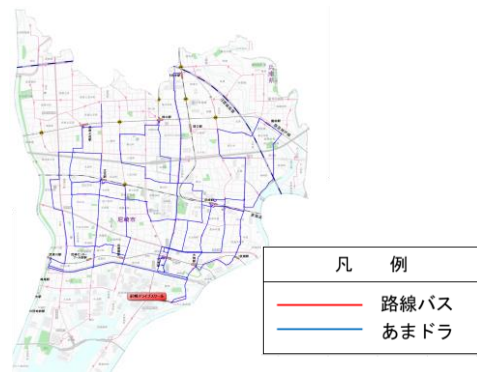
【阪神バス】自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替（兵庫県尼崎市）

新規運行コストをかけず、輸送範囲拡大、安全性向上

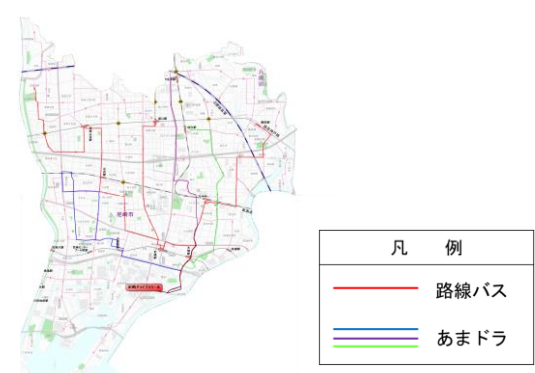
○路線の集約

- ・教習生のみが利用可能だったあまドラ送迎が阪神バス路線で代替されることで、教習生以外も利用可能となるとともに、阪神バス停留所での乗降が可能となった。

【旧】あまドラ送迎と阪神バス路線とが同一エリアで重複



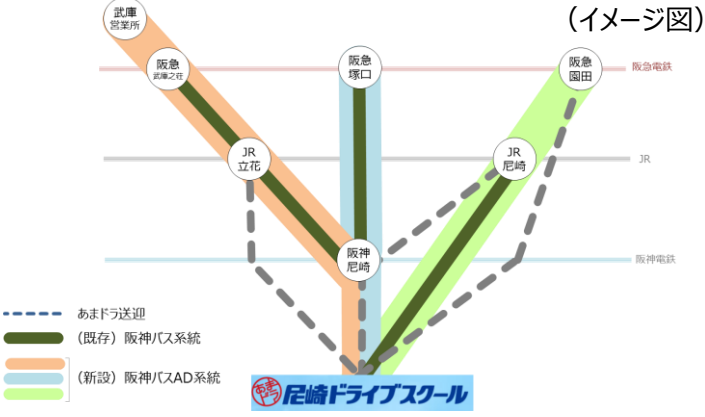
【新】あまドラ送迎阪神バス路線で代替し、路線を集約



○運行便数の維持

- ・既存系統を減便し、あまドラまで延伸した新設系統と合わせて、既存区間で従前と同水準の便数を維持

方面	系統	従前	変更後
阪急武庫之荘駅方面	(新設) 阪神バスAD1系統	—	1便/時間
	あまドラ送迎	1便/時間	—
	(既存) 阪神バス15系統	4~6便程度/時間	3~5便程度/時間
阪急塚口駅方面	(新設) 阪神バスAD2系統	—	1便/時間
	あまドラ送迎	1便/時間	—
	(既存) 阪神バス13系統	4~6便程度/時間	3~5便程度/時間
阪急園田駅方面	(新設) 阪神バスAD3系統	—	1便/時間
	あまドラ送迎	1便程度/時間	—
	(既存) 阪神バス52系統	1便/時間	1便程度/時間 (9~16時台は無し)



○道路運送法上の許可を受けたバス事業での運行

【阪神バス】自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替（兵庫県尼崎市）

教習生の利便性向上

○教習期間中の阪神バス全線利用

- ・教習生は、教習期間中、阪神バス乗車時に教習手帳を運転者に提示することで、教習所に通う以外の移動も含め、無料で阪神バス全線が利用可能。

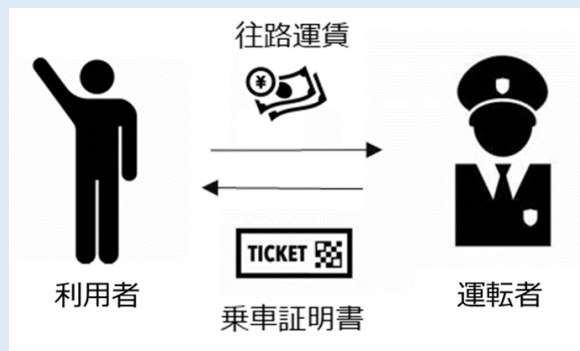


「バス運賃返金システム」

※一日教習生はバス運賃返金システムで教習所までの往復が無料

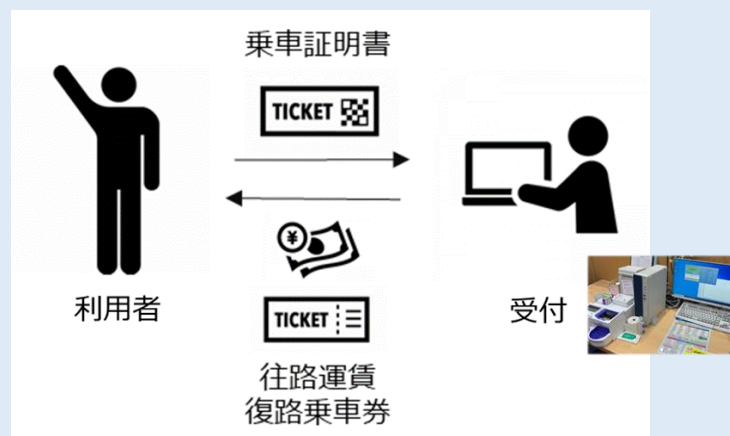
①往路

- ・利用者が路線バスに乗車の際に、一旦運賃を支払い。
- ・運転者より乗車証明書（QRコード付き）を受け取り。

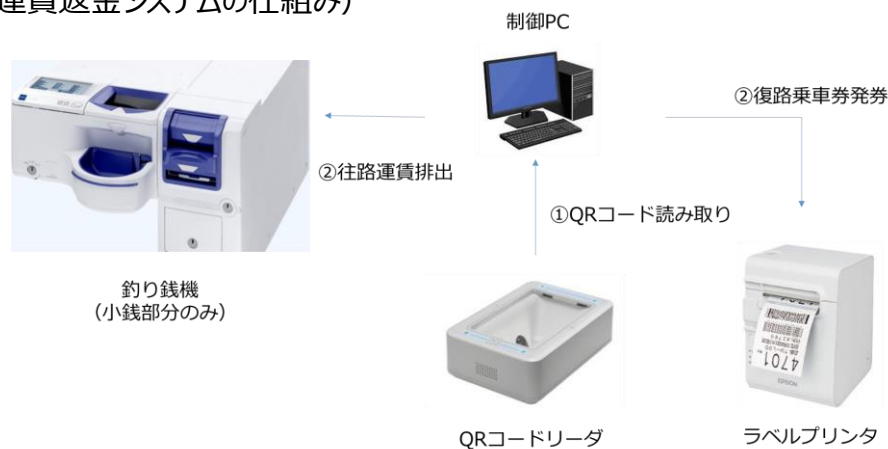


②受付・復路

- ・利用者から受付に乗車証明書を提出。
- ・受付でQRコードを読み取ると、システムより往路運賃の返金（現金）と復路乗車券が発券される。
- ・利用者は復路乗車券を利用して、往路も無料でご乗車可能。



(運賃返金システムの仕組み)



令和3年6月28日近畿運輸局からプレスリリース

NEWS RELEASE



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先

(所属) 自動車交通部 旅客第一課

(担当) 大谷・大石

(電話) 06-6949-6445

令和3年6月28日

プロドライバーで安心 バス運行のダブりを解消！



～自動車教習所の無料送迎を阪神バスの路線バスで代替～

阪神バス株式会社は、沿線の自動車教習所と連携し、安心安全な乗合バス事業の持続性を高めるため、同社路線と重複する自動車教習所の無料送迎を乗合バス路線により代替する取り組みを、令和3年7月31日（土）から開始します。

この取り組みでは、阪神バスと自動車教習所が、両者とも新たな運行コストをかけることなく、安心安全な乗合バス事業の持続性を高め、利用者も含めた三方にメリットが生まれます。

近畿運輸局としては、このような取り組みにより、沿線企業等の送迎の安全性、利便性の確保が進むとともに、コロナ禍における乗合バス事業の持続性を高めることも期待し、同様の事例の普及拡大を促してまいりたいと考えています。

記

1. 開始日
令和3年7月31日（土）
2. 取組概要
 - ・自動車教習所が阪神バスと大口の運送契約を年間で締結
 - ・教習生は、阪神バス全線を無料で利用可能
 - ・一日教習生は、バス運賃返金システムにより、自動車教習所までの路線を無料で利用可能

令和3年8月14日神戸新聞で「三方よし」の取り組みとして取り上げられた

三方一両「得」

論説副委員長 長沼隆之

日々小論

「三方一両損」は落語でおなじみだ。大工が落とした三両の小判を左官が拾って届けるが、大工は頑として受け取らない。言い合っているうちにお裁きとなり、大岡越前守が自ら一両を差し出し、四両にして2人に分ける、という噺である。

このお話、損をしながらも全てが丸く収まったのだから、皆が得したとも言えないか。

話は大きく変わって現代。乗客の減少で苦境に立たされる公共交通機関で7月末、「三方一両得」の事業が始まった。

阪神バスは、尼崎市の自動車教習所「尼崎ドライブスクール」の無料送迎バスの一部を、既存の路線バスで代替する。教習生には阪神バス全線で使えるフリー乗車券を発行し、その費用は教習所が負担する。

阪神バスは固定収入の確保、教習所は運行費用の削減や事故リスク回避などの利点が期待で

きる。教習生にとっても乗車停留所が増えるなど便利になる。新たなコストをかけずに、公共交通機関の持続性を高める。まさに「三方よし」である。

数年前、北海道の十勝バスは住民調査で得た結果を「バスが利用されないのは不便だからではなく、料金や乗り方が分からず不安だから」と分析。利用者目線に立った情報提供など小さな工夫を重ねて乗客を増やし、業績のV字回復を果たした。

阪神バスの取り組みも、教習生らの「バス利用に対する不安」の解消につながれば、その後も移動手段として選ばれる価値や可能性が高まるだろう。

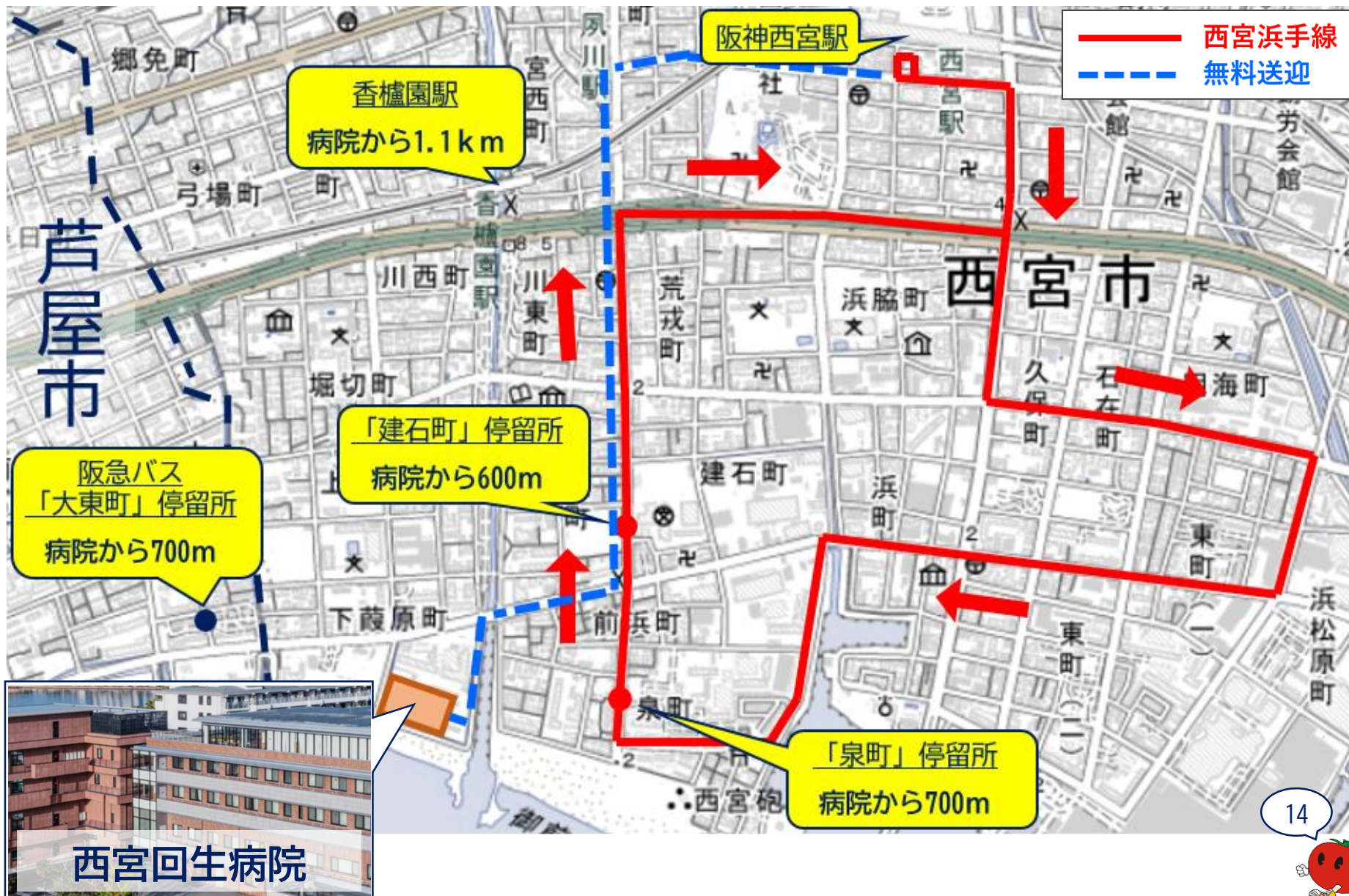
公共交通をただ残すのではなく、人々の移動を支えるという本来の役割を高める。そのため知恵や工夫の積み重ねが、需要を創造し、未来を拓く。

三両が四両にも五両にもなれば。お後がよろしいようで。

2. 西宮回生病院・西宮市との取り組み (2024年2月～)



取り組みの背景



取り組みの背景

阪神バス



- ・2021年7月に尼崎ドライブスクール(あまドラ)の無料送迎を路線バスに代替した実績あり。
- ・一方で、深刻化する運転士不足等の影響を受けて、西宮浜手線の路線休止も含めて検討していた。

西宮回生病院



- ・阪神西宮(阪急夙川)方面に無料送迎を運行。
- ・一方で、運転士不足により持続可能な運行に懸念があった。

西宮市

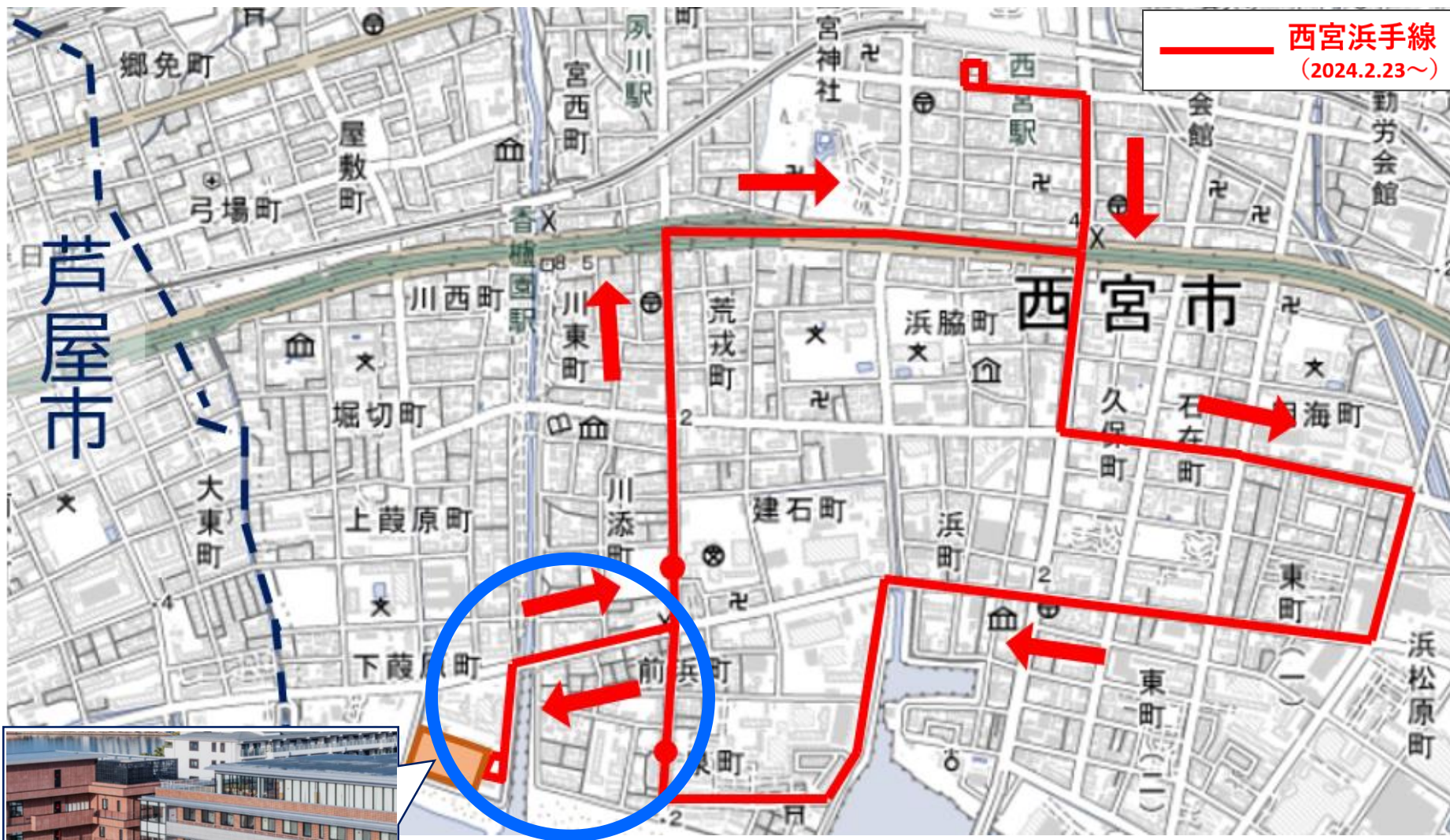


- ・芦屋市と隣接する浜手エリアを「公共交通不便地域」に指定。不便解消に向けた手段を模索していた。

⇒ 当社のあまドラでの実績を踏まえ、他地域への展開先として西宮回生病院を市に提案したところ、病院側もこれに賛同した。



取り組みの目的 (2024年2月23日実施 ダイヤ改正)



延伸

取り組みの目的(2024年2月23日実施 ダイヤ改正)

阪神バス



- ・既存バス路線(西宮浜手線)の維持
- ・沿線住民の潜在需要喚起によるバスの利用機会創出
- ・病院からの固定収入確保

西宮回生病院



- ・無料送迎の運行費用削減および事故リスク回避
- ・運転士不足の解消

西宮市



- ・公共交通不便地域(約7ha)の解消
- ・既存公共交通の維持

⇒ さらに西宮回生病院内に運賃返金システムを設置することで、
病院利用者にとっても、実質無料運賃のまま
乗り降り可能な停留所が増えるメリットが生まれた。

“四方よし”の実現



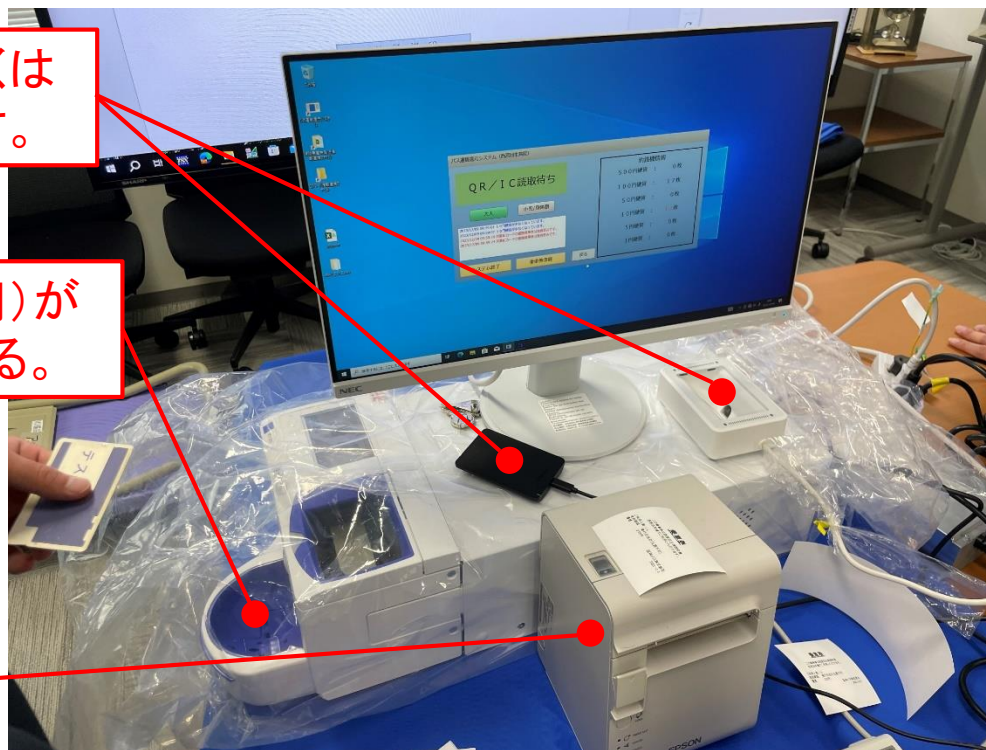
運賃返金システムの設置

- ・西宮回生病院に、運賃返金システム(アイテック阪急阪神が構築)を設置し、病院利用者に“実質無料”の輸送サービスを提供。
- ・運賃返金システムは、あまドラでも導入実績があるが、本取り組みでは、ICカードでの乗車にも対応できるよう改良を行った。

①乗車証明書もしくはICカードをかざす。

②往路運賃(230円)が現金で返金される。

③復路乗車券が発券される。



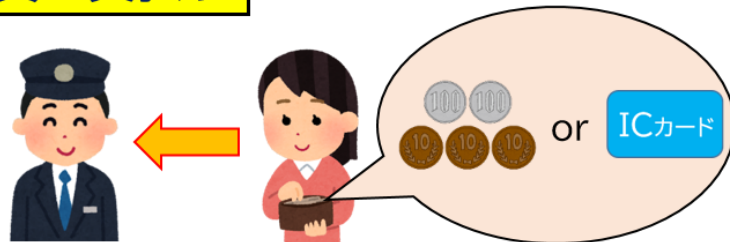
アイテック阪急阪神との運用面の調整を経て、病院の会計窓口を設置した



運賃返金システムの設置

往
路

① 運賃を支払う



- ・降車時に、現金もしくはICカードで運賃をお支払いください。
- ・現金でお支払いされる方は、乗務員に『病院を利用します』とお伝えください。

※hanicaカードは返金の対象になりません。

② 乗車証明書をもらう



- ・現金で支払い、病院を利用する旨をご申告いただいた方に乗務員から「乗車証明書」をお渡します。
- ・ICカードでお支払いされた方は、乗車証明書を受け取らずに降りていただいて結構です。

復
路

③ 西宮回生病院で会計を行う



- ・会計時に、乗車証明書もしくはICカードをご提示ください。

④ 往路の運賃と復路乗車券をもらう



- ・往路の運賃を返金するとともに、帰りのバスの乗車券(＝復路乗車券)をお渡します。
- ・復路乗車券は、降車時に乗務員にお渡しください。



「西宮回生病院前」停留所の新設

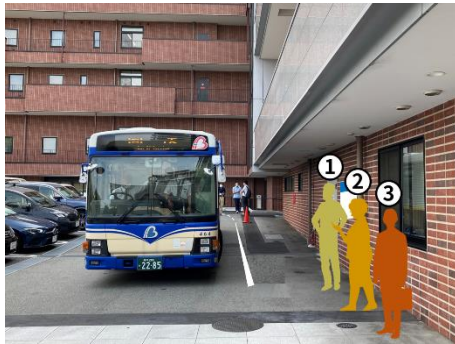
バスの往来に必須となる『転回空間の確保』にあたっては、

- ・駐車スペースの区画変更工事 ・カーブミラーの新設
- ・病院に繋がる市道の補修工事

を実施し、安全運行に向けた環境を整備した。

⇒ 当社・西宮回生病院・西宮市が、乗り入れに向けた明確なビジョンを共有していたことが、課題の円滑な解消に繋がった。

●停留所の新設



●バスの転回空間の確保



駐車区画の変更(病院 主導)



駐車区画の縮小(病院 主導)



ミラーの設置(バス 主導)



市道の補修(西宮市 主導)

●利用促進

玄関ロタリーに
阪神バス停車のご案内 土日祝も運行

2024年7月23日から阪神バス西宮流手線の停留所に西宮回生病院前が追加されます。
これに伴い、2月22日をもって無料送迎バスの「阪神西宮直通ルート」路線を廃止し、
「3駅送迎ルート」を増便します。新しい交通アクセスの選択版としてご利用ください。

阪神西宮南口
「西宮流手線」
2/23(金)から
西宮回生病院前
運行スタート!

【病院発】平日		
8	8:07	13:12
9	8:22	13:27
10	8:45	14:10
11	9:02	15:12
12	9:27	15:52
13	9:52	16:32
14	10:32	17:13
15	11:12	17:57
16	11:52	17:57
17	12:32	18:22
18		18:47

【病院発】土日祝		
8	8:08	13:27
9	8:25	
10	9:25	
11	10:27	
12	11:27	
13	12:27	
14		13:42

受診・面会のみ運賃を補助
無料送迎バスと同等のサービスが提供できるように
当院を受診される場合と面会で来院される場合のみ
運賃補助を設けます。

西宮流手線に停車し当院前で降車する際
現金支払い時に「**西宮回生病院前**」の発行依頼
を乗務員さんにお伝えください。

受け取った「**西宮回生病院前**」は乗降時または
乗合送迎用紙に交付印記にご確認ください。

チラシ作成・配布
(病院 主導)



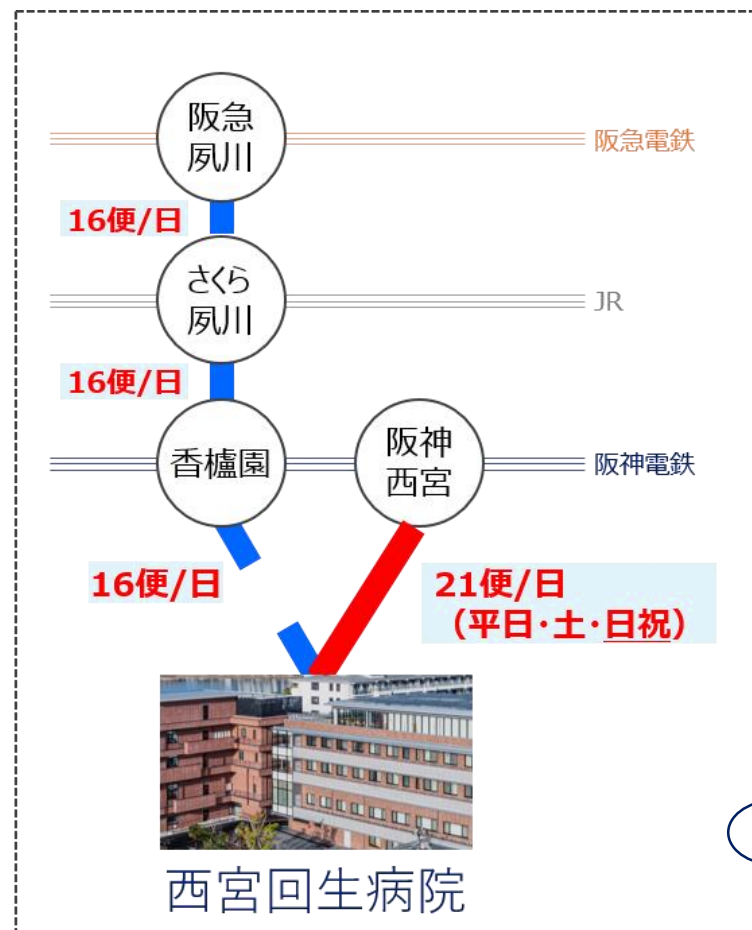
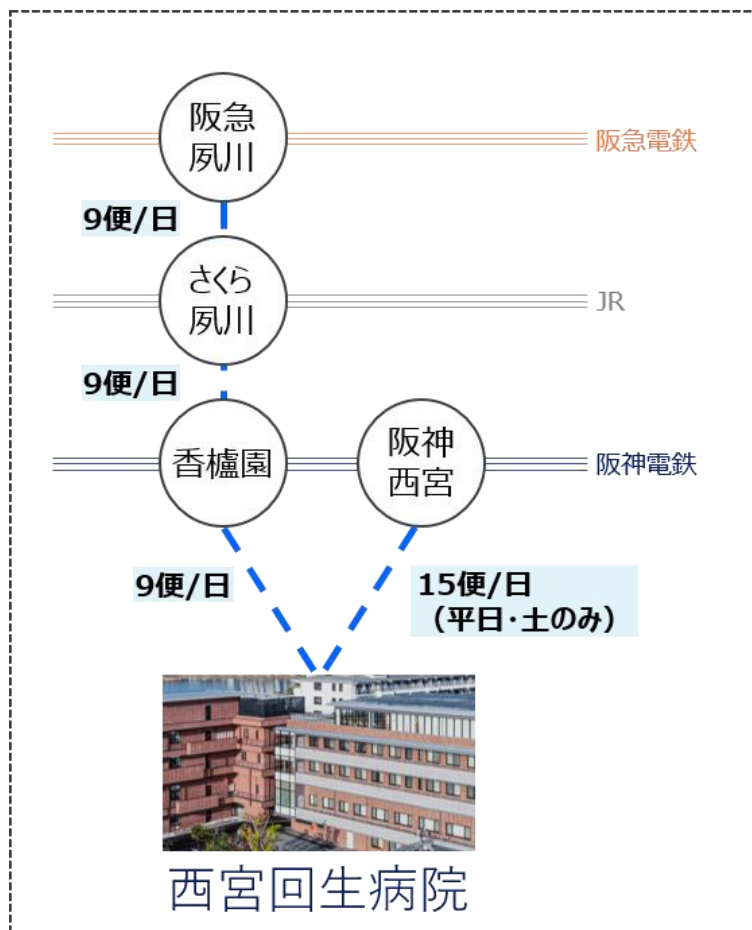
取り組みの成果

病院へのアクセス向上

- ・阪神西宮方面への無料送迎を代替し、かつ無料送迎では運行のなかった日曜日・祝日における病院アクセスの向上という付加価値を実現した。

--- 無料送迎

—— 西宮浜手線



今後の展望

■沿線住民の「公共交通活用」の意識醸成

沿線に住みながら「乗り方が分からない・料金体系を知らない」といった理由から、路線バスに対して心理的障壁があった方々が、本取り組みを契機に利用機会を得ることで、そのような障壁を払拭し、公共交通の利用促進に繋げる。

■他地域への水平展開・再現による モビリティ・マネジメントの効果的な実施

本取り組みは、各事業主体が運用面・財源面で負担にならない体制を構築しており、事業の持続可能性は高い。

また本取り組みが解消を目指す課題は全国的な課題でもある。
無料送迎を実施する主体は、塾やスイミングといった習い事や従業員輸送など多岐にわたることから、本取り組みをパッケージ化し、他地域において水平展開する際のモデルケースとすることで、モビリティ・マネジメントの効果的な実施に繋げる。

競争相手を共創パートナーに



ご静聴ありがとうございました。

